

令和7年度 江戸川区立篠崎第五小学校 第5学年算数科 評価規準

● みんなで算数をはじめよう!／2つに分けよう

	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動(★は「デジタルコンテンツ」)	知識・技能	思考・判断・表現
	2 5 1 0	みんなで算数をはじめよう!／算数で使いたい見方・考え方	①②算数の学習の進め方を理解し、問題解決に生かすことができる。	・「みんなで算数をはじめよう!」及び「算数で使いたい見方・考え方」を見て、算数の学習の進め方について話し合う。	・問題解決の進め方を理解している。	
		2つに分けよう		・「2つに分けよう」の問題に取り組み、形も面積も同じ(合同)になるように2等分する分け方を見つける。 ★ワークシート「2つに分けよう(3×4ます)」「2つに分けよう(3×6ます)」を使って活動する。		・形も面積も同じ(合同)になるように2等分するしかたについて、筋道を立てて考えたり表現したりしている。
【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。						
・問いをもち、主体的に考えたり友だちの考えから学び合おうとしたりするとともに、解決の過程や結果を振り返り、よりよい方法を考えたり新たな問いを見いだそうとしたりしている。						

Ⅰ 整数と小数	
◆単元の目標と評価規準	
○整数及び小数の表し方を理解し、そのしくみについてまとめたり、数と式の表現や計算などに有効に生かしたりする力を身につける。また、その過程を振り返り、十進数としての表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)、A(2)イ(ア)】	
	・整数や小数の十進数としてのしくみを理解し、ある数の10倍、100倍、1000倍、 $1/10$ 、 $1/100$ などの大きさの数を、小数点の位置を移して作ることができる。<知・技>
	・整数と小数の表し方のしくみに着目し、数の相対的な大きさを考察し、十進位取り記数法としてまとめ、数と式の表現や計算などに有効に生かしている。<思・判・表>
	・整数や小数について、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。<態度>

2 体積	
◆単元の目標と評価規準	
○立体図形の体積について理解し、直方体や立方体の体積の求め方を考える力を身につける。また、その過程を振り返り、体積の単位と計算による求め方のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 B(4)ア(ア)(イ)、B(4)イ(ア)】	
	・体積の単位「 cm^3 、 m^3 」と測定の意味、単位の関係について理解し、直方体及び立方体の体積を公式を用いて求めることができる。<知・技>
	・体積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の体積の求め方を考えているとともに、体積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察している。 <思・判・表>
	・直方体や立方体の体積について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

3 2つの量の変わり方	
◆単元の目標と評価規準	
○簡単な場合の比例の関係について理解し、伴って変わる2つの数量の関係について表や式を用いて考察する力を身につける。また、その過程において、数量の変化や対応の関係について多面的に捉え検討して粘り強く考える態度を養う。【学習指導要領との関連 A(6)ア(ア)、A(6)イ(ア)、C(1)ア(ア)、C(1)イ(ア)】	
	・簡単な場合について比例の関係があることを知るとともに、数量の関係を表す式についての理解を深めている。<知・技>
	・伴って変わる2つの数量を見いだして、それらの関係に着目して表を用いて変化や対応の特徴を考察したり、対応や変わり方に着目して簡単な式で表されている関係について考察したりしている。<思・判・表>
	・伴って変わる2つの数量について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

■ 2000 cm^3 を作ろう

	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
	4 6		①体積の公式について理解を深め、体積についての感覚を豊かにする。	・体積が2000 cm^3 の直方体について、2000を3つの数の積と捉え、縦、横、高さの3辺の長さの組み合わせを考える。 ・体積が2000 cm^3 の立体を、直方体以外でも考えて作る。	・体積についての感覚をもち、2000 cm^3 の立体の大きさについて、およその見当をつけることができる。	・2000を3つの数の積と捉え、縦、横、高さの3辺の長さの組み合わせを考えている。

4 小数のかけ算	
◆単元の目標と評価規準	
○乗数が小数である場合の乗法の意味について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。【学習指導要領との関連 A(3)ア(ア)(イ)(ウ)、A(3)イ(ア)、A(6)ア(ア)】	
	・乗数が小数である場合の乗法の意味について理解し、小数の乗法の計算ができる。また、小数の乗法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解している。<知・技>
	・乗法の意味に着目し、乗数が小数である場合まで数の範囲を広げて乗法の意味を捉え直しているとともに、それらの計算のしかたを考えたり、それらを日常生活に生かしたりしている。<思・判・表>
	・小数の乗法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

5 合同と三角形、四角形	
◆単元の目標と評価規準	
○図形の合同について理解し、図形間の関係を合同の観点で考察したり、合同な図形の構成のしかたを考えたりする力を身につけるとともに、三角形や四角形などの内角の和の性質を見だし、その性質を筋道を立てて考え説明する力を身につける。また、その過程において、多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度や、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 B(1)ア(ア)(イ)、B(1)イ(ア)、内(2)】	
	・図形の形や大きさが決まる要素や、図形の合同について理解し、合同な図形を作図することができる。また、三角形の3つの角の大きさの和が 180° になることや、四角形や多角形の内角の和は三角形に分ければ求められることを理解している。<知・技>
	・図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成のしかたを考察したり、図形の性質を見だし、その性質を筋道を立てて考え説明したりしている。<思・判・表>
	・図形の合同、及び多角形の内角の和の性質について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

6 小数のわり算		
◆単元の目標と評価規準		
○除数が小数である場合の除法の意味について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討して、よりよい方法を粘り強く考える態度を養う。【学習指導要領との関連 A(3)ア(ア)(イ)(ウ)、A(3)イ(ア)】		
	・除数が小数である場合の除法の意味や、あまりの大きさについて理解し、小数の除法の計算ができる。また、小数の除法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解している。＜知・技＞	
	・除法の意味に着目し、除数が小数である場合まで数の範囲を広げて除法の意味を捉え直しているとともに、それらの計算のしかたを考えたり、それらを日常生活に生かしたりしている。＜思・判・表＞	
	・小数の除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。＜態度＞	

■ ご石の数え方

	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
	9 9		①具体的な事柄を式に表したり、式に表されている関係をよみ取ったりして、式についての理解を深める。	・正方形の辺上に並べた基石の数の求め方を、図と式を関連づけて説明する。 ・問題を発展させて、正方形の内部にも基石を並べた場合の基石の数の求め方を、図と式を関連づけて説明する。		・図や式から思考の筋道を考察し、図をよみ取って式に、式をよみ取って図に表現している。

7 整数の見方	
◆単元の目標と評価規準	
○偶数と奇数、倍数、約数など整数の性質について理解し、観点を決めて整数を類別するしかたを考えたり、数の構成について考察したりする力を身につける。また、その過程を振り返り、整数の性質に着目することのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(ア)(イ)、A(1)イ(ア)、内(1)】	
	・整数は観点を決めると偶数と奇数に類別されることや、約数、倍数について理解し、それらを求めることができる。<知・技>
	・乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別するしかたを考えたり、数の構成について考察したりしているとともに、日常生活に生かしている。<思・判・表>
	・整数の性質や整数の構成を調べることにについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。<態度>

8 分数の大きさとし算、ひき算	
◆単元の目標と評価規準	
○分数の意味と表し方について理解を深め、分数の相等や大小関係について考える力を身につけるとともに、異分母の分数の加法及び減法の計算のしかたについて、図や式などを用いて考える力を身につける。また、その過程を振り返り、分数の表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【 学習指導要領との関連 A(4)ア(ウ)(エ)、A(4)イ(ア)、A(5)ア(ア)、A(5)イ(ア)】	
	・分数の分母、分子に同じ数を乗除してできる分数は、もとの分数と同じ大きさを表すことや、分数の相等及び大小について理解し、大小を比べることができる。また、異分母の分数の加法及び減法の計算ができる。<知・技>
	・数を構成する単位に着目し、数の相等及び大小関係について考察している。また、分数の意味や表現に着目し、異分母の分数の加法及び減法の計算のしかたを考えている。<思・判・表>
	・分数の意味と表し方、異分母の分数の加法及び減法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

9 平均	
◆単元の目標と評価規準	
○平均の意味について理解し、測定した結果を平均する方法を考える力を身につける。また、その過程を振り返り、平均を用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 D(2)ア(ア)、D(2)イ(ア)】	
・いくつかの数量を同じ大きさの数量にならすことで妥当な数値が得られる場合は、測定値を平均するとよいことを理解し、平均を求めることができる。<知・技>	
・概括的に捉えることに着目し、測定した結果を平均する方法について考察し、それを学習や日常生活に生かしている。<思・判・表>	
・平均について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>	

■ 奇数と偶数に分けて

頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
1 4 1		①煩雑な計算を必要とする場面で、式や図に表してきまりを見つけて解決することとおして、論理的な思考力を伸ばす。	・1から100までの100個の整数を奇数と偶数に分け、それぞれを合計した数の差の求め方を考える。		・偶数と奇数の性質に着目し、きまりを見つけて効率よく問題を解決するしかたを考え、式や図などを用いて表現したりよみ取ったりしている。

10 単位量あたりの大きさ	
◆単元の目標と評価規準	
○異種の2つの量の割合として捉えられる数量について、速さなど単位量あたりの大きさの意味や表し方を理解するとともに、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を図や式などを用いて考える力を身につける。また、その過程において、多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度や、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 C(2)ア(ア)、C(2)イ(ア)】	
・速さなど単位量あたりの大きさの意味及び表し方について理解し、それを求めることができる。<知・技>	
・異種の2つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を考察し、それらを日常生活に生かしている。<思・判・表>	
・異種の2つの量の割合として捉えられる数量について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>	

11 わり算と分数	
◆単元の目標と評価規準	
○整数の除法の結果を分数で表すことを理解し、整数や小数を分数の形に直したり、分数を小数で表したりすることができるとともに、分数と整数、小数の関係を考えたり、分数の表現に着目して分数の意味をまとめたりする力を身につける。また、その過程を振り返り、分数の表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(4)ア(ア)(イ)、A(4)イ(イ)】	
	・整数の除法の結果は、分数を用いると常に1つの数として表すことができることを理解し、整数や小数を分数の形に直したり、分数を小数で表したりすることができる。<知・技>
	・分数と整数、小数の関係を考えたり、分数の表現に着目して分数の意味をまとめたりしている。<思・判・表>
	・分数について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

■ 九九の表を調べよう

	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動(★は「デジタルコンテンツ」)	知識・技能	思考・判断・表現
	1 7 2		①九九表のきまりについて平均の学習などを活用して説明する活動をとおり、論理的な思考力を伸ばす。	・九九表の答えの総和の求め方を考えたり、たすきがけて斜めにかけた答えが同じになる理由を考えたりする。 ★シミュレーション「九九の表」を使って活動する。		・九九表を調べてきまりを見つけ、そのきまりがほかの場合でも成り立つかを考えている。

12 割合	
◆単元の目標と評価規準	
○ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係とを比べる場合に割合を用いる場合があることや、百分率を用いた表し方を理解するとともに、その意味や求め方を図や式などを用いて考える力を身につける。また、その過程において、多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度や、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 C(3)ア(ア)(イ)、C(3)イ(ア)、内(4)】	
	・ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係とを比べる場合に割合を用いる場合があることや、百分率を用いた表し方を理解し、割合などを求めることができる。<知・技>
	・日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係との比べ方を考察し、それを日常生活に生かしている。<思・判・表>
	・割合について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

13 割合とグラフ	
◆単元の目標と評価規準	
○帯グラフと円グラフ及び統計的な問題解決の方法について理解し、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目してグラフに的確に表現し、それらを用いて問題を解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力を身につける。また、その過程を振り返り、グラフの表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 D(1)ア(ア)(イ)、D(1)イ(ア)、内(5)】	
	・円グラフや帯グラフの特徴について理解し、表したりよみ取ったりすることができる。また、データの収集や適切な手法の選択など統計的な問題解決の方法を知っている。＜知・技＞
	・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的に捉え考察している。＜思・判・表＞
	・データの収集とその分析について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。＜態度＞

■ 四角形の関係調べよう

	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
	202		①基本的な四角形の性質の相互関係を調べ、平面図形についての理解を深める。*	・基本的な四角形(台形、平行四辺形、ひし形、長方形、正方形)について、辺の位置関係や相等関係、直角の有無という条件にあてはまるかどうかを表に整理する。 ・基本的な四角形の相互関係をベン図に表せることを知る。	・基本的な四角形について、共通する性質を理解している。	・四角形の共通する性質に着目して、既習の図形を捉え直している。

14 四角形や三角形の面積	
◆単元の目標と評価規準	
○四角形や三角形の面積の計算による求め方を理解するとともに、その方法を図や式などを用いて考えたり、公式を導いたりする力を身につける。また、その過程において、面積の求め方を多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。【学習指導要領との関連 A(6)イ(ア)、B(3)ア(ア)、B(3)イ(ア)、C(1)ア(ア)】	
	・平行四辺形、三角形、台形、ひし形の面積の計算による求め方について理解し、それらの面積を公式を用いて求めることができる。<知・技>
	・図形を構成する要素などに着目して、基本図形の面積の求め方を見いだしているとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導いている。<思・判・表>
	・四角形や三角形の面積について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

15 正多角形と円	
◆単元の目標と評価規準	
○正多角形について理解し、図形の性質を見いだしたり構成のしかたを考えたりする力を身につけるとともに、円周率について理解し、円周の長さや直径の長さの求め方を考える力を身につける。また、その過程を振り返り、それらの図形の性質を生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(6)イ(ア)、B(1)ア(ウ)(エ)、B(1)イ(ア)、C(1)ア(ア)、内(3)、指2(2)】	
	・円に関連させて正多角形の基本的な性質について理解し、正多角形を作図することができる。また、円周率の意味について理解し、円周の長さや直径の長さを求めることができる。＜知・技＞
	・図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成のしかたを考察したり、図形の性質を見だし、その性質を筋道を立てて考え説明したりしている。＜思・判・表＞
	・正多角形と円について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。＜態度＞

16 角柱と円柱	
◆単元の目標と評価規準	
○角柱や円柱について理解し、図形の性質を見いだしたり、その性質をもとに既習の図形を捉え直したりする力を身につける。また、その過程を振り返り、それらの図形の性質を生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 B(2)ア(ア)、B(2)イ(ア)】	
・角柱や円柱について理解し、見取図や展開図を作図したり、展開図をもとに構成したりすることができる。<知・技>	
・図形を構成する要素に着目し、図形の性質を見いだしているとともに、その性質をもとに既習の図形を捉え直している。<思・判・表>	
・角柱や円柱について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>	

■ 三角形に变身

頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
2 5 5		①三角形の底辺と高さの 関係をもとに、面積を変え ずに四角形を三角形に変 形できる理由を理解する。	・底辺の長さが高さが等しい三角形は面積 も等しいことを用いて、面積を変えずに四 角形を三角形に変形するしかたを知る。 ・一般四角形の面積を、三角形に変形して 三角形の面積公式を用いて求める。		・三角形の底辺と高さの関 係をもとに、面積を変え ずに四角形を三角形に変 形できる理由を考えている。

● 算数を使って考えよう

頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
2 5 6 5 2 5 9	(和食でおもてなし) (割引券)	①②知識・技能等を活用 し、課題解決のための構想 を立て、筋道を立てて考え たり、数学的に表現したり することができる。	・和食や外国人旅行者に関するグラフから 必要な情報をよみ取り、説明する。また、資 料のよみ取りについて、正しいとはいえな いものを判断し、理由を説明する。 ・50円引きと10%引きの2種類の割引券 を持っている場面で、購入する商品によっ て、どちらの割引券を使うほうが安くなるか を考え説明する。 ・20%増量後の量が300mLのドリンクの、 もとの量の求め方を考える。 ・50円引きと10%引きのどちらの割引券 を使うほうが安くなるかを説明した文章を 読み、不十分なところを補い説明しなおす。		・グラフを用いて表された データを分析したり、よみ 取った結論について多面 的に考察したりするなど、 算数の学習を活用して考 え表現している。 ・日常の場面から算数の問 題を見だし、割合などの 学習を活用して解決した り、言葉や式などを用いて 説明したりするなど、算数 の学習を活用して考え表 現している。

【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。

・数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用し
ようとしていたりしている。

◎ 5年のまとめ

頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
2 6 6 0 3 5		①②第5学年の学習内容 の問題を解決することがで きる。	・数と計算、図形、変化と関係、データの活 用についての問題に取り組む。	・第5学年の学習内容につ いて、知識及び技能を身に つけている。	

【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。

・第5学年の学習内容について自らの学習状況を振り返り、それらが確実に身につくように粘り強く取り組もうとしている。